

環境会計

「環境経営」を推進するための
「経営管理」・「コミュニケーション」ツールとして役立てています



守山市
琵琶湖夕景

環境保全活動の報告の一環として、平成18年度より「環境会計」をCSRレポートで公表しています。
省エネ・省資源による「エコオフィスづくり」に努め、事業活動による環境保全効果が図れたとともに、環境対応型金融商品の提供による「環境金融」は着実に増加しており、「環境会計」にその成果が表れております。
今後も「お金の流れで地球環境を守る」との気概のもと、お客さまの環境保全活動を一層促進することにより、地域社会・地球環境との「共存共栄」を多面的に追求してまいります。

1.対象期間 平成20年4月1日～平成21年3月31日 2.対象範囲 滋賀銀行単体 3.集計方法 環境省発行の「環境会計ガイドライン」を参考

(1) 環境保全コスト

(単位:百万円)

分類	平成20年度		備考
	投資額	費用額	
(1) 事業エリアコスト	671	293	
公害防止コスト	14	5	土壌汚染防止のためのコスト
地球環境保全コスト	656	234	【投資額】浜町研修センターの環境保全投資 【費用額】低公害車、破砕機リース代金および減価償却費
資源循環コスト		52	一般・産業廃棄物の処理、処分コスト
(2) 上・下流コスト		6	再生紙回収、リサイクル費用
(3) 管理活動コスト		69	環境広告、環境商品パンフレット、環境イベント等
(4) 研究開発コスト		2	環境保全に資する会費、研究コスト
(5) 社会活動コスト		8	学校ピオトープ支援、ニゴロブナ放流、環境ボランティア費用
合計	671	380	

※地球環境保全コストの投資額は「浜町研修センター」の環境保全設備投資です。

(2) 環境保全効果

環境保全効果の分類	環境パフォーマンス指標(単位)	平成19年度	平成20年度	環境保全効果 平成19年度対比
事業活動に投入する 資源に関する環境保全効果 (インプット)	電力使用量(千kWh)	23,350	21,152	▲ 2,198
	都市ガス(m ³)	63,552	57,559	▲ 5,993
	LPガス(m ³)	4,311	1,612	▲ 2,699
	上下水道(m ³)	122,560	118,832	▲ 3,728
	ガソリン(注入量・kℓ)	282	299	17
	重油(注入量・kℓ)	88	62	▲ 26
事業活動から排出する 環境負荷に関する 環境保全効果(アウトプット)	温室効果ガス(CO ₂)排出量(CO ₂ /t)	6,982	6,812	▲ 170
事業活動から産出する 財・サービスに関する 環境保全効果	環境対応車購入資金(実行件数)	208	156	▲ 52
	太陽光発電システム導入資金(実行件数)	14	12	▲ 2
	未来の種による排出権購入累計(CO ₂ /t)	2,000	4,000	2,000
	植樹活動(累計本数)	12,780	16,180	3,400
	公用車の環境対応車への切替(累計台数)	222	291	69
環境対応型金融商品による 地域への環境保全活動	環境対応型融資商品の残高(百万円)	79,084	85,258	6,174
	環境対応型融資商品による金利優遇額(百万円)	441	384	▲ 57
	エコプラス定期(累計件数)	1,042,057	1,353,001	310,944
	エコ&耐震住宅ローン実行(累計件数)	2,620	2,782	162
	琵琶湖原則支援資金賛同書(累計件数)	2,184	4,528	2,344
	琵琶湖原則支援資金実行累計額(百万円)	6,782	11,968	5,186

(3) 環境保全対策に伴う経済効果

(単位:百万円)

効果の内容	具体的な取り組み	平成19年度	平成20年度
収益	環境対応型融資商品による資金利益	▲ 100	33
	エコ関連ファンド販売手数料	43	4
	リサイクルによる売却収入	0	0
費用削減	省エネ、省資源によるエネルギー費用の節減	▲ 35	13
合計		▲ 92	52

〈平成20年度における環境対応型融資商品の取り組み内容〉

- ①環境対応型融資商品の残高は85,258百万円と前期比6,174百万円増加いたしました。
 - ②お客さまの環境保全活動をサポートするために384百万円の金利を優遇いたしました。
- その結果、環境対応型融資商品による融資収益(貸出金利息－資金調達原価)は33百万円となりました。

環境対応型金融商品は、短期的な効果を求めるのではなく、長期的な目線でお客さまと継続的なリレーション(長期的な関係)を構築し、持続可能な社会を築いていくことに意義があり、それこそが地方銀行としての使命であると考えています。